

(1) 教育・保育の実施状況と今後の取組について

平成27年10月1日現在の教育・保育の実施状況について、子ども・子育て支援事業支援計画と比較し点検、評価します。

〔教育・保育の実施状況〕

①需要から見た計画と実際の比較

多くの市町において、実際の需要が計画の量の見込み（需要）を上回っています。

これは、新制度において保育の必要性の要件が緩和された（120時間以下の就労、求職活動等）ことに伴い、申込児童数が増加したことなどによると考えられます。

	実際の需要 (人数) / 計画の需要 (人数)	実際の需要が計画の需要を 下回っている市町数 (実際の需要<計画の需要)		実際の需要が計画の需要を 上回っている市町数 (実際の需要≥計画の需要)	
		計	参考 待機児童あり	計	参考 待機児童あり
1号認定	97.8%	16		13	
2号認定	99.3%	16	2	13	
3号認定 0歳	102.0%	18	7	11	5
3号認定 1～2歳	101.0%	10	3	19	5

②確保から見た計画と実際の比較

施設整備については、概ね計画どおり実施されており、確保できていない市町については、利用定員が計画どおり設定できなかったことが考えられます。

3号認定0歳においては、地域型保育事業などが計画どおり進まなかったことが考えられます。

	実際の確保 (人数) / 計画の確保 (人数)	計画どおり確保できている 市町数 (計画の確保≤実際の確保)		計画どおり確保できていない 市町数 (計画の確保>実際の確保)	
		計	参考 待機児童あり	計	参考 待機児童あり
1号認定	104.7%	25		4	
2号認定	102.0%	16	1	13	1
3号認定 0歳	98.2%	19	7	10	5
3号認定 1～2歳	101.0%	19	6	10	2

③実際の需要（申込児童数）と実際の確保（利用定員）の比較

実際の需要を確保できているが待機児童が発生しているのは、2号認定で1市、3号認定で5市町あります。また、実際の需要を確保できず待機児童が発生しているのは、2号認定で1市、3号認定で9市町あります。

その理由として、次のことが考えられます。

(ア)実際の需要を確保できているものの待機児童が発生している市町については、児童数が過密な地域に必要な数の施設が確保できていないことや、施設はあるが保育士が確保できないことが原因と考えられます。

(イ)実際の需要を確保できていない市町においても、面積と保育士の配置基準を満たしたうえで利用定員を超えて認可保育所に入所させることにより、待機児童が発生していない場合もあります。

	実際の確保 (人数) / 実際の需要 (人数)	実際の需要を確保できている 市町数 (実際の需要 ≤ 実際の確保)			実際の需要を確保できていな い市町数 (実際の需要 > 実際の確保)		
		計	待機児童 なし	待機児童 あり(ア)	計	待機児童 なし(イ)	待機児童 あり
1号認定	164.7%	26			3		
2号認定	107.9%	22	21	1	7	6	1
3号認定 0歳	94.8%	18	13	5	11	4	7
3号認定 1～2歳	97.3%	16	14	2	13	7	6

[今後の取組]

各市町は、計画に基づいて、教育・保育の確保に努めるとともに、待機児童が発生した市町においては、特に次の取組により対応するとしています。

○津市

認定こども園化、私立保育所の施設整備、地域型保育事業の認可等により推進

○四日市市

認可保育所の新設、定員拡充、地域型保育事業の認可により対応

○松阪市

認可保育所の新設、増改築により対応

○名張市

保育所の増改築、私立幼稚園の認定こども園化、地域型保育事業の認可により対応

○尾鷲市

平成28年度は定員より申込者数が少ないため、待機児童は減少する予定

○亀山市

地域型保育事業の推進・活用により対応

○熊野市

広域入所、1～2歳児の余裕分で0歳児に対応

○いなべ市

保育士の増員により対応

○伊賀市

量の見込みと実際の需要の乖離を確認しながら検討

○菰野町

保育士の確保に努め対応

○明和町

保育士の確保に努め対応

○度会町

臨時保育士の確保に努め対応

[参考] 待機児童数推移

	H26. 4. 1	H26. 10. 1	H27. 4. 1	H27. 10. 1	4月増減	10月増減
津市	0	98	0	92	0	△6
四日市市	7	55	59	124	52	69
松阪市	0	54	0	40	0	△14
鈴鹿市	0	0	9	0	9	0
名張市	27	100	8	114	△19	14
尾鷲市	2	8	0	2	△2	△6
亀山市	5	9	9	19	4	10
熊野市	0	2	0	2	0	0
いなべ市	0	3	0	1	0	△2
志摩市	0	1	0	0	0	△1
伊賀市	6	8	0	3	△6	△5
菰野町	0	3	0	4	0	1
明和町	1	11	13	6	12	△5
度会町	0	10	0	5	0	△5
合計	48	362	98	412	50	50

県は、待機児童解消に向けて、保育所等整備のための財政支援や、潜在保育士の職場復帰支援や保育修学資金等貸付制度など保育士確保の取組を進めるとともに、低年齢児保育の保育士加配を支援しています。